

NEWS RELEASE

FRAMED*

情報解禁：2020年8月28日 午前7時

報道関係各位

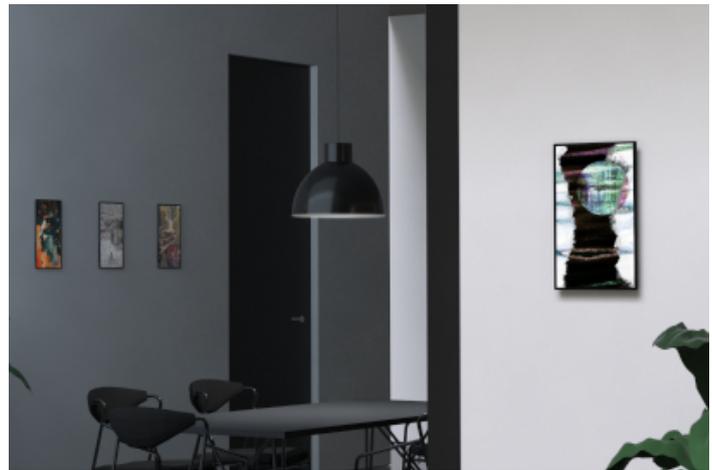
2020年8月28日
株式会社 FRM

オンライン上の画像/動画を自由に投影する、WEB ブラウザベースの新しいアートフレーム
『Mono X7』の先行予約を8/28(金)より開始、初回限定の特別価格で販売

デジタルアートのエコシステムビジネスを展開する「FRAMED」が提案する
オンライン上の無限のビジュアルをアートへ昇華する、新世代のWi-Fiアートフレーム



※画面ははめ込み合成です。
©Tim Rodenbroker



使用イメージ

株式会社 FRM（本社：東京都港区、CEO：William Lai）は、オンライン上の画像/動画や各種デジタルアート作品をカジュアルに投影できるアートフレーム「Mono X7」の先行予約販売を、2020年8月28日（金）より、同年9月30日までの初回限定価格 39,800 円（ベーシックモデル/税抜、送料含まず）にて開始します。

※ご注文が生産予定数を超えた場合、予定日より前に特別価格の適用が終了する場合がありますので、ご了承ください。
※納品予定：2020年12月 ※通常価格は 49,800 円（ベーシックモデル/税抜、送料含まず）を予定しています。

Mono X7 先行予約ページ

<http://mono.frm.fm/shop>

製品コンセプト

『Mono X7』は、Google のオープンソース「Chromium」をベースに OS 開発をした、タテ型 17.3 インチのデジタルアートフレームです。

インターネットとの融合こそがアートフレームの進むべき未来という開発ポリシーを掲げ、WEB ブラウザベースでの開発を選択し進めてきました。

インターネットにリンクして、オンライン上に存在する数々のイマジネイティブなビジュアルを映し出す“リンク・ディスプレイ”。それは音楽のプレイリストを楽しむ様にカジュアルに部屋を彩る、新しいアートフレームの姿であると私達は確信しています。

自分が撮影/制作した画像はもちろん、FRAMED オンラインギャラリーを通じて購入した世界中のデジタルアートクリエイター達の作品を投影することも可能。アーティストの制作ツールとしても導入しやすい価格設定も実現しています。

Mono X7 主な特徴



■Wi-Fi 機能搭載、17.3 インチ縦型 LED ディスプレイ (サイズ:W232mm×H 398mm)

■超軽量 1.6kg のスリム設計。ディスプレイ部は業界最薄 5mm 厚

■各種操作は全て専用スマホアプリで対応

※本機と同一の Wi-Fi ネットワーク上にあるスマートフォンに、専用 app をダウンロードして操作します。

■FEED 機能※により、オンライン上の画像/動画を簡単操作で投影

■USB 入力も装備しているので自分で撮影した写真なども投影可能

■専用オンラインギャラリー「FRAMED Gallery※」から購入した各種作品も鑑賞可能

■様々な映像フォーマットに対応

(JPG, PNG, GIF, RAW, BMP, AVI, MPEG, MOV, MP4, FLASH, Processing, openFrameworks, vvvv, and more)

■反射防止ノングレアタイプ採用、フルHD 1080p IPS パネル搭載で精度高くクリアに表示

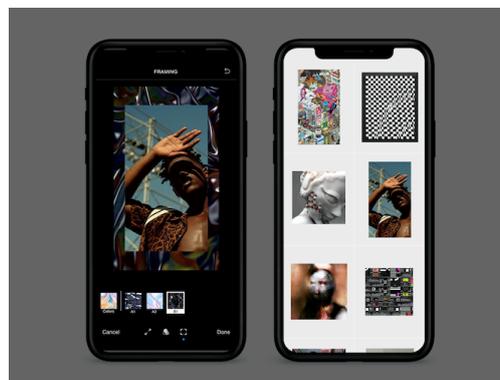
※FEED 機能

Framed ホームページ上のユーザーページに登録・ログインし、WEB 上にある好みの画像の URL を入力するとスマートフォン専用 app に反映します。そのスマホと同一の Wi-Fi ネットワークの Mono X7 本体を設定することで、登録した画像をアプリ上の操作で Mono X7 に転送・表示させる機能です。

※アドレスをコピーできない画像は非対応となります。

※画像によっては解像度が低いなどの理由で鑑賞には適さない場合があります。

※全ての画像の表示を保証するものではありません。ご了承願います。

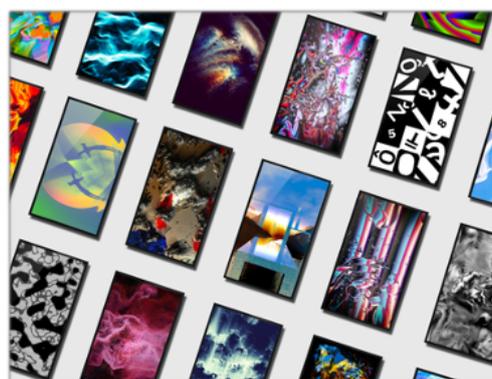


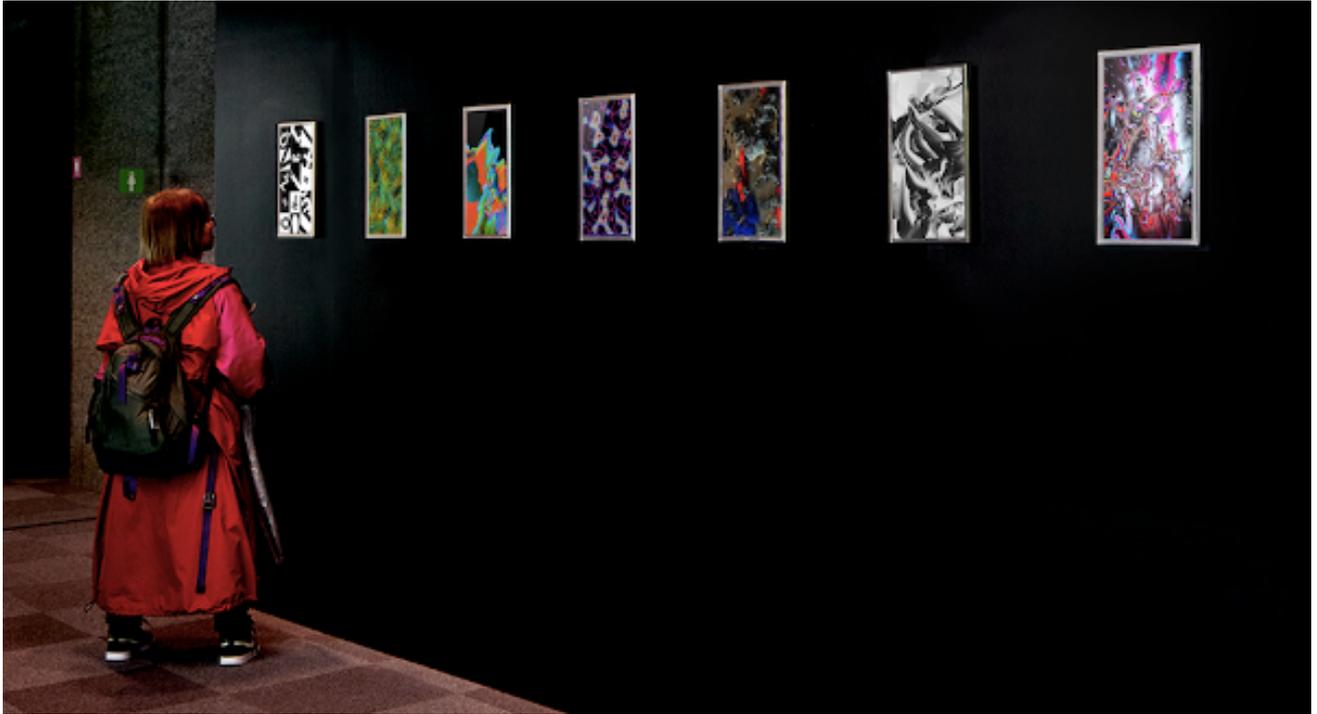
※FRAMED Gallery : <https://frm.fm/gallery>

「FRAMED Gallery」は、様々なメディアを駆使した新世代のデジタルアートを Mono X7 などの FRAMED ディスプレイで鑑賞するために、世界中のアーティスト 1000 人以上の作品を提供する、専用オンラインアートギャラリーサービスです。

作品の購入から『Mono X7 リンクプレーヤー』への転送・鑑賞は、スマホアプリで簡単に操作ができます。

日常に寄り添う“インテリアとしての”映像作品から最新のインタラクティブ作品まで、デジタルアートの世界をお楽しみください。





■CEO : William Lai メッセージ

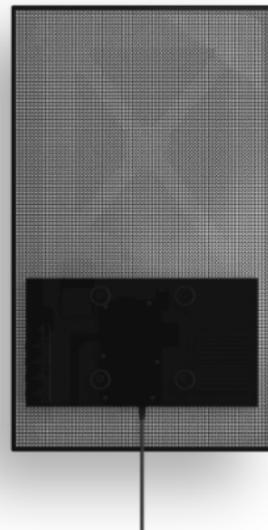
インターネットや SNS が、仕事からプライベートまで、生活の全てを占めていると言っても過言ではない現在、その存在は既にモノやコトという”情報を伝える手段”を超えて、”新しい出会いと自分を表現する手段”へと進化しています。

「FRAMED」で新しいデジタルアートの仕組みと楽しみ方を構築してきた私達は、この様な情報伝達とコミュニケーションの変化を受け、アートフレームとインターネットの融合により、もっと身近にデジタルアートを楽しめるデバイスの必要性を考えました。

それは、自分の好きな音楽をワイヤレススピーカーで気軽に楽しむ様に、普段自分が触れているお気に入りの Web サイトや自ら撮影した写真までカジュアルにアートとして昇華し、作家による作品と別け隔てなくシームレスに楽しめるデバイスです。

Mono X7 はその様な背景から生まれた、正にデジタルエイジに向けた最新のアートフレームです。このモデルを通じてデジタルアートの魅力に触れてほしいと思います。

また、クリエイターの方々にもアートインフラデバイスとしての魅力を感じてもらえる、手の届きやすい価格設定も実現しました。より多くの方に手にとって頂ければ幸いです。



主な仕様

[品名] FRAMED mono X7 リンクプレーヤー [外観寸法] W232mm×H398mm×D15mm [本体重量] 約 1.6kg [ディスプレイ] 縦型 17.3 インチ Full HD 1670 万広色域(P3) [表面処理] 非光沢 LCD 処理 ノングレアタイプ [解像度] 1080×1920 ピクセル,326dpi [システム CPU] Intel® クアッドコア X5-Z8350(1.92 GHz) [グラフィックス] Intel® HD Graphics 2GHz(500MHz) [メモリ・容量] 4GB DDR3 32GB EMMC [電源] 100-240V / 12V/5A DC [無線 LAN] Wi-Fi 802.11 ac [対応フォーマット] JPG, PNG, GIF, RAW, BMP, PNG AVI, MPEG, MOV,MP4, FLASH, Processing, openFrameworks, vvvv, and more

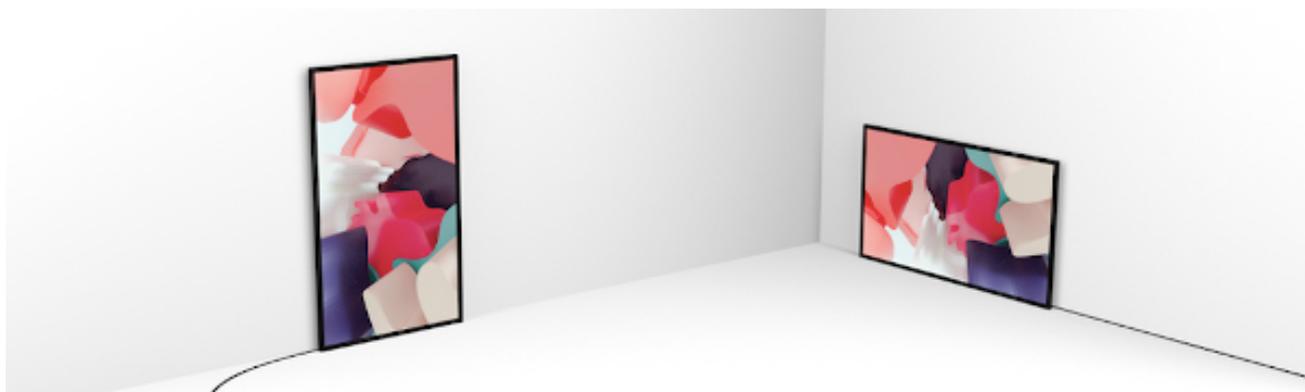
*上記仕様は 2020 年 8 月 28 日現在の情報に基づきます。品質の向上のため予告無く変更する場合があります。

Mono X7 先行予約ページ

<http://mono.frm.fm/shop>



©Micheal Paul Young

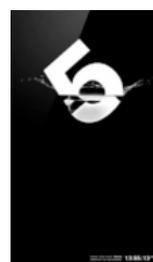


©Micheal Paul Young

■FRAMED Gallery <主な参加アーティスト>

中村勇吾 / Yugo Nakamura

ウェブデザイナー／インターフェイスデザイナー／映像ディレクター。1970年生まれ。東京大学工学部修士課程修了。橋梁設計会社、ウェブデザイン会社を経て、2004年tha. ltd.を設立。ユニクロのウェブサイトデザインやCMディレクション、スマートフォン「INFOBAR」シリーズのUIデザイン、NHK Eテレ「デザンあ」映像監修など、活動は多岐に渡る。tha.jp/



by Yugo Nakamura

レフィック・アナドル / Refik Anadol

イスタンブール出身のメディアアーティスト兼ディレクターで、カリフォルニア大学ロサンゼルス校のデザインメディアアート学部の講師および客員研究員を務めるレフィック・アナドルは、主にパブリックアートの分野で活動し、建築とメディアアートのハイブリッド関係を構築する、デジタルエンティティと物理エンティティの空間を探っている。

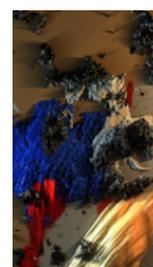
彼の作品は、マイクロソフト・リサーチのベスト・ビジョン・アワードやアート・マシーン・インテリジェンス・アーティスト・レジデンシー・アワードの受賞など世界的評価を受けており、ウォルト・ディズニー・コンサートホール（アメリカ）、国際デジタル・アーツ・ビエンナーレ・モントリオール（カナダ）、アルスエレクトロニカ・フェスティバル（オーストリア）、バルセロナ凱旋門（スペイン）、シドニー・シティ・アート（オーストラリア）、リヒテンルート（ドイツ）など、世界各地で披露されている。



by Refik Anadol

米田研一 / kynd

アメリカ・サンフランシスコのITフロンティア最前線で仕事をするUXデザイナーとしての顔と、他ジャンルのアーティストと実験や創作を協業し、世界で活躍する日本人アーティスト「kynd（カインド）」としての顔を持つ米田研一氏。絵画に特化した作風で知られるkyndは、統計的ビジュアルからモーションフィルム、ライブパフォーマンスまで、手作りの美学と物理現象の境界を探求するコンピューターアルゴリズムを作り出している。CreativeApplications.Net、Wired、POSTmatter、Gizmodo、designboomなど、紙媒体にもオンラインメディアにも幅広く取りあげられており、メルボルン国際映画祭、アニメックスフェスティバルロンドン、Punto y Raya Festivalなどの映画祭で上映された彼のアニメーションは絶賛され、その活動は多岐に渡る。



by kynd

■FRAMED 使用アーティストコメント

YOSHIROTTEN

2018年の大規模個展「FUTURE NATURE」にて、1部屋に18台のFRAMEDを使用した作品を制作いたしました。また自分がデザインしたBAR「Bloody Angle」にも1点飾っています。

コンピューターで制作したグラフィックの彩度を損なわない美しい表示技術と簡単な操作で中身を入れ替えることができるFRAMEDは、デジタルアートを身近に楽しめて僕らの生活空間の心地よい一部になってくれます。今回はさらにコンパクトで扱いやすいものらしいので、色々楽しみにしております。

FRM 概要

- 2012.01 「FRM」台湾社を設立
- 2012.03 「FRAMED 55" モデル」受注発売開始
- 2012.03 「FRAMED SPACE 表参道」ショールーム・オープン
- 2012.12 「2012 年度 グッドデザイン大賞」ものづくりデザイン賞・受賞
- 2014.08 「FRAMED 24" モデル」発表・米 Kickstarter にて募金総額 5,300 万円に成功
- 2015.08 「FRAMED 24" モデル」米 NY・MoMA Design Store にて発売開始
- 2016.12 「株式会社 FRM」日本社を設立
- 2017.05 「FRAMED 24"」代官山 蔦屋書店にて日本国内発売開始
- 2018.10 「FRAMED Spaces」商業施設アート配信サービス開始

Co-Founder and CEO William Lai (ウィリアム・ライ)

FRM 創業者、代表取締役社長、販売システムを兼ね備えたデジタルアートを映すディスプレイとプロダクト FRAMED* のグローバル戦略を担う。

世界初のオープンソーススマートフォンである Wikipedia リーダー Openmoko のプロダクトデザインとマネージャーの経験を活かし、Web の特徴である共同性を備えた UX とプロダクトのデザインを行う。

日本大学芸術学部で音楽理論を学ぶ。その後、東京発の音楽インディーズレーベル TempleATS を創業。2004 年 the Golden Melody Award 受賞の Shawn Sung の Life's a Struggle や各賞受賞経験のある Origami を含む 5 枚のアルバムをプロデュースしリリース。台湾台北市在住。

Co-Founder 中村勇吾

創業メンバー。立ち上げ時の FRAMED* のインタラクティブデザイン、web ページ、グラフィック、プロダクトのディレクションを実施。世界的に革新的な web とインタラクティブデザイナー集団として知られている Tha 株式会社の創業者。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社 FRM 広報担当 堀 良一

hori@frm.fm

080-5471-8656